

■**杉田久女** **俳人。虚子のとなえる客観写生を超越，名声が全国に響くも，言動激しく除名絶縁され，孤独に。**
すぎたひさじょ
帝国議会始・1890＝ 鹿児島市平之馬場町で，長野県松本出身の大蔵省事務官赤堀廉蔵と華道池坊関西家元代理さよの三女に生れる。本名久子。6人兄妹の3女。次兄に俳人赤堀月塘がいる。

日清戦争始・1894＝ 4歳：
日清戦争終・1895＝ 5歳：父の沖縄那覇県庁への転勤に伴い，一家は那覇へ転居。

八幡製鉄始・1897＝ 7歳：那覇の小学校へ入学。台湾に転居。

Bushidou・・1899＝ **9歳**：
父に従って東京谷中桜木町に移り，

教科書疑獄・1902＝12歳：東京女子高等師範学校附属高等学校に入学。

日露戦争終・1905＝15歳： 同級に，のちに作家・評論家で名を成す三宅やす子がいて，常にライバルとして意識する。

韓国反日暴動1907＝17歳：同高等女学校本科を卒業。
アヲヲ^ヲ創刊・1908＝**18歳**：
伊藤博文暗殺1909＝19歳：画家杉田宇内と結婚，

大逆事件判決1911＝21歳：小原村で長女昌子を出産，約一年間滞在。
明治天皇没・1912＝22歳：

第一次大戦始1914＝24歳：夫が福岡県小倉中学校に赴任するのに従い，小倉に移居。

民本主義・・1916＝26歳：次女光子を出産。**次兄赤堀月蟾から俳句を学び，句作をはじめる。**
ロシア革命・1917＝**27歳**：**_{ホトトギス}に初めて句が載る。東京の実家に里帰り中，飯島みさ子邸の句会で高浜虚子に初めて会い，長谷川かな女，阿部みどり女を知るとともに，すぐに頭角を現し，**
第一次大戦終1918＝28歳：市内堺町へ転居。父が死去。**_{ホトトギス}虚子選雑詠欄に初入選。**
ベルサイユ条約・1919＝29歳：***{大阪毎日新聞}懸賞小説に「河畔に棲みて」を応募，選外佳作となる。下関での虚子歓迎俳句大会に出席。傑作「花衣ぬぐや・・」などが{ホトトギス}雑詠三席。家事をかえりみず俳句に打込み，夫と不和となり，**
大暴落・・・1920＝30歳：信州松本で父の納骨後，腎臓病となり，東京で入院後，離婚問題がおき，
原敬首相暗殺1921＝31歳：一年ぶりで小倉にもどる。**_{一時句作を中断，中村汀女を熊本県江津湖畔に訪ねる。**
水平社結成・1922＝32歳：**_{ホトトギス}に入選の句が家庭内の物議をかもし，夫婦で小倉メソジスト教会で受洗。小倉の橋本邸橋山荘で虚子歓迎俳句大会を開催後，橋本多佳子に俳句の手ほどきをする。**
治安維持法・1925＝35歳：松山での虚子歓迎俳句大会に出席。
円本時代始・1926＝**36歳**：姉が死去。箱崎で病氣静養後，教会を離れる。**_{俳句に専念する決意を固め，女流俳句の研究に取り組む。**
金融恐慌・・1927＝37歳：道後での第一回関西俳句大会に出席。**_{ホトトギス}に「大正時代の女流俳句に就て」「俳句に蘇りて」。**
共産党事件・1928＝38歳：小倉広寿山福聚禅寺にて虚子歓迎俳句会を開催。**_{以後，次々作品や評論を発表。**
世界恐慌・・1929＝39歳：次兄が死去。**_{天の川}雑詠婦人俳句欄選者となる。改造社版「現代日本文学全集」38巻に作品を寄せ，大阪での{ホトトギス}四百号記念第三回関西俳句大会に橋本多佳子を伴い出席。**
海軍軍縮条約1930＝40歳：**_{かりたご}婦人雑詠選者となる。**
満州事変・・1931＝41歳：小倉市富野菊ヶ丘へ転居。***東日・大毎共催の虚子選「日本新名勝俳句」に“餌して山ほととぎすほしいまま”が金賞を受賞，久女の名声が全国に響いた。**
五一五事件・1932＝42歳：**_{主宰誌{花衣}を創刊したが，5号で廃刊。{ホトトギス}同人となるが，久女の強い個性が他の同人の反発を招き，**
帝人疑獄事件1934＝44歳：***上京して，虚子に句集序文を請うも叶わず，**
芥川直木賞始1935＝**45歳**：**_{以後，三年間雑詠欄に入選句もなくなり，**
二二六事件・1936＝46歳：徳富蘇峰が久女の実稿を井物展望社に出版依頼。**_{門司で虚子の渡仏を送るも，除名され，句界と絶縁。**
日中戦争始・1937＝47歳：{俳句研究}に作品掲載。長女の結婚式で上京。
総動員+健保 1938＝48歳：{ホトトギス}に最後の掲載。
第二次大戦始1939＝49歳：{俳句研究}に作品掲載。**_{それまでの全句を整理，自選して句集草稿を作る。**
日米開戦・・1941＝51歳：次女の結婚式で上京。
年金+総武装 1944＝**54歳**：母が死去。葬儀に上阪し，鎌倉の長女を訪ね，**_{句集出版の願いを託して，**
敗戦・・・1945＝55歳：福岡市郊外太宰府の県立筑紫保養院へ入院し，
新憲法公布・1946＝56歳：腎臓病悪化のため，**_{没した。**
没後の昭和27年，「杉田久女句集」が刊行された。